

令和4年1月定例教育委員会会議録

- 1. 開催日時 令和4年1月31日（月） 13時27分～16時40分
- 2. 開催場所 日野中学校 2階多目的室
- 3. 出席委員 安田 寛次教育長、西村 吉弘教育長職務代理者
吉澤 正義委員、神川 貴子委員、本居 節子委員
- 4. 出席事務局員 教 育 次 長：宇田 達夫
 学校 教育 課：参事 吉村 俊哲 参事 小椋 慶洋
 生涯 学 習 課：課長 吉澤 増穂
 図 書 館：館長 長谷川 毅
 子ども支援課：課長 柴田 和英

安田 教育長	<p>日程1 開会</p> <p>それでは、ただいまから日野町教育委員会定例会を開会したいと思います。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p> <p>日程2 教育長あいさつ</p> <p>(教育長あいさつ)</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p> <p>日程3 タブレット端末を使用した授業の見学</p> <p>それでは、議事日程に基づいて進行させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、日程3 タブレット端末を使用した授業の見学でございますが、本日こちらの日野中学校にお邪魔しまして、タブレットを使った授業の様子を委員の皆様にご見学いただきまして、共に学習したいと思っております。</p> <p>また、授業見学のあと図書室の様子も見学させていただきたいと予定をしております。</p> <p>それでは、まず日野中学校の福永校長先生から簡単に概要の説明をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
福永 校長	<p>(説明)</p> <p>(見学)</p>

<p>安田 教育長</p>	<p>皆さん、ありがとうございました。中学校1年生と2年生の授業の様子を参観させていただきました。タブレットを使った授業の様子や図書室の様子を見学させてもらって、いろいろとお考えになられたところもあるのではないかと思いますので、少し時間を取りまして、校長先生を前に感想を聞かせていただきたいと思います。感想でもご質問でも結構でございます。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>授業を見学させていただきました。感想を申し上げたいと思います。</p> <p>1つは、タブレットを使いながらの授業の様子ですけれども、生徒諸君の様子を見ておりますと、勝手に画面を開けて違うところを見たり、いろんなことを自由にやっているわけで、そういう意味では、先生が進めようとしている問題提起に対してストレートになかなか答えてなくて、それでいいのかなと思ったのが1つございます。</p> <p>これはやはり過渡期というか、タブレットをどのように有効に使っていくかという課題として、これからさらに研究されていくのではないかと思いますので、タブレットの良さというのはもうひとつわからないままだったというのが正直なところだと思います。これが第1点です。</p> <p>それとの関わりで、タブレットなしでやっておられた2年3組の理科ですけれども、気圧配置についてなどいろいろな気象についてのあれこれを解説しておられたのですが、先生ご自身がいわば体を張ってというか、全身を使って、動きで表現して、迫りに満ちた勢いで教えておられた、生徒たちがみんなそちらに目を向けて、その姿を追っていたので、生徒たちが集中して授業を受けているなという感じがいたしました。</p> <p>3つ目は、日野の天然記念物ですけれども、国指定が5か所あるのを4か所だと説明されていて、「熊野のヒダリマキガヤ」が抜けているのが気になりました。この件についてはあとあとフォローをよろしくお願ひしたいと思います。以上でございます。</p>
<p>吉澤 委員</p>	<p>タブレットを使った授業も、始まってまだあまり日数が経っていませんので、先生の方の準備も大変な作業と、生徒が興味を持てるような工夫が必要だし、これから時間をかけて力量を高めていただけたらいいのではないかと思いますのと、それと、やはり逆に子どもたちも、タブレットの操作に慣れきって自由に授業の進めに合わせて使える生徒と、まだどうしたらいいか困って苦勞をしながらタブレットを操作して、出したいところを出そうとしているのですが、なかなかまだ十分に先生の意図する授業の</p>

<p>神川 委員</p>	<p>内容に食いついていけるだけの使い慣れができていない生徒さんもかなりおられたように思いますので、生徒の中にも非常に格差が最初から大きいのではないかなという気がしました。</p> <p>これから先生と一緒に、日数が経てば、経験を積めば、うまく機能できるのかなとは思いますが、以上です。</p> <p>初めて中学校の授業を見させていただいて、タブレット学習のいい面と悪い面が両方見えたと思いました。いい面は、先生が質問等されたことで興味があることをパッと調べられて、より深められる部分もあるし、逆によくないのは、違うことをしている生徒さんもいるので、それは先生からは絶対見えないし、聞いてない子は本当に聞いてないなという印象がありました。</p> <p>タブレットで学習しているよりは、黒板でやっている授業の方が、子どもたちは前を向いているし、ちゃんとノートを取っているような感じだったので、実際どちらがいいのかはわからないのですが、何となく黒板の授業の方が落ち着いてみんなが聞いている感じがしました。</p>
<p>本居 委員</p>	<p>私も初めてタブレットを使った授業を見させていただいて、後ろから見ていると子どもたちの画面がどんな様子かすごくよくわかったので、皆さんがおっしゃるように、やはり先生が言われることにきちんと答えている画面の子と、どんどん自分で違うところを開いて行って違うものを見ている子と、いろいろあるので、そこに関してはこれからどんどん経験を積んでいくとまた状況も変わっていくのかなと思うのですが、今、自宅学習なんかでもタブレットを導入して、通信教材などもタブレットで学習している子が多いので、タブレットに関しては、学習することに興味を持つ子も中には出てくることもあるのかなと思うので、今の子どもたちの勉強方法としては1つよいのかなと思いますし、やはり書くことに関しても、先生の言われたことを書いて覚えるということが全くなってしまうのも、覚えていくことに関しては書くことの方がいいのかなと思って今日も見させていただきましたが、ただ、わからない子どもたちが、先生の書かれたことを書くだけで一生懸命になってしまっていて、聞きたいことやわからないことが聞けなくなってしまうということも出ているのかなということも感じたりしますので、書くことばかりに追われるのも考えなければいけないのかなと感じながら見させていただいていました。</p>
<p>吉澤 委員</p>	<p>1つ言い忘れました。先ほど申し上げたように、まだ始まって間がない</p>

	<p>ですし、なかなか教師側も生徒側も慣れない部分が多いのですけれども、そうすると、不可能な話なんでしょうけれど、指導者・先生が複数という授業になれば、少し助かるのと違うかなと思ったりもします。</p> <p>今日、1年生のタブレットの授業の教室で、生徒さんは30人もいないですね、20人台ですね。30～40年前でしたら40～45人、それより以前は50人近い生徒数で授業をやっていたわけですから、30人を切る人数ですから、慣れれば先生も1人でやれると思うのですが、教員の複数配置、なかなかお金の関係で増やせないと思うのですけれども、今新しいことに取り掛かっているわけですから、特別な配置でもって、もっと複数の先生での授業ができれば、もっと早く慣れてくれるのと違うかなというようなことを感じていました。</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございます。事務局の皆さんもせっかくの機会ですので、一言ずつお願いします。</p>
宇田 次長	<p>単純に、タブレットを使った授業というのは難しいなと思います。有効に使おうと思うと、先生方がこれから研修を積んで、長けた先生の情報回しながらうまくやっけていかないといけないのかな、その大変さをすごく感じました。</p>
吉村 参事	<p>私が中学校の時の授業内容とは全然違うのだと思うのですが、授業の密度というのか、進み具合がいささか遅いのかな、大丈夫かなと思えるような感じで進めておられた気がしました。当然、目当てをもって、今日はここまでということを決めて授業をしておられるから大丈夫だとは思いますが、私が中学生の時の授業よりは随分とスローペースで、生徒さんがされる作業を待ちながら授業をされていたという印象で、これで1年間の習うべきことがすべて終わるのかなと、そんなことを思いました。</p> <p>理科と国語の授業を見せていただいたあとに、2年1組の英語の授業を見せていただいたのですが、理科や国語に比べタブレットを使った授業に英語は向いているのかなという感じがしました。クイズを英語で作る授業でしたが、直感的に操作しながら非常に積極的に作業に取り組んでいる生徒が多くて、そのような授業には活用の余地があるのかなと感じました。</p>
小椋 参事	<p>生徒が違うことをしていたというのは、そのとおりです。</p> <p>アンモナイトがヒマラヤ山脈の山頂で見つかることの理由をタブレットにいちいち書かせて、それをみんな、海の底、海の底、海とかという、</p>

	<p>あのような場面で使う意味がないというのを非常に感じました。交流の場面とか、自分の考えを組み立てたものをみんなに知らせる場面で使うものであって、一問一答式のことを使うのは無駄であると思いました。</p> <p>それから、ただ、生徒がネットで調べている時間をずっと、前から黒板を背にして見ているだけというのも、もったいないと思いました。</p> <p>英語の先生は、子どもたちの画面の方側へ回って、どういうことをしているのかを見て声を掛けておられたので、やはりああいうふうに見届けることが大事だと思います。</p> <p>私が初めてパソコンを触ったのが平成3年だと記憶しておりますので、30年経って、中学校の授業の中でこういうふうに使われる、1人1台持って使うというのは隔世の感だなというのがまず第一印象として思いました。</p> <p>授業の中身の関係で言いますと、黒板を見てする授業は当然ですがけれども、先生がしゃべられたことを全員がそのことに対して集中して聞くという姿勢でしたが、パソコンになって、各人が自分の進捗状況に合わせて進めていっているという部分があるようですので、できる者とできない者との差をどのように今後埋めていくのかということを感じました。</p> <p>電子黒板と普通の黒板との併用という意味では、電子の方は動きも見せられるし、いろいろな展開もできるということと、従来からの黒板で先生が書いたものを写されるという、その併用ができるという意味では非常に有効というか、今後いろいろな使い道があるなと感じました。</p> <p>今日はタブレットに特化した授業ということで、通常の授業の一部分しか見られなかったと思うのですが、タブレットの活用で学校図書館の活用が少なくなるようにならないければいいかなと感じます。図書館の資料とインターネットの情報をハイブリットで使う授業をやられていると思うので、そうなればいいなと思います。</p> <p>あとは最後まで理科の授業は見られなかったのですが、調べたことは何から調べたのか、引用とか出典とか、そういうことを授業の中でされているかどうかというのが少し気になりました。</p> <p>ありがとうございました。校長先生、資料をご用意いただきましたが、その説明も含めてお願いします。</p>
吉澤 課長	
柴田 課長	
長谷川 館長	
安田 教育長	

<p>福永 校長</p>	<p>本日はどうもありがとうございました。今年のタブレットを導入されるにあたっての目標が、「全員が使うことをものにする」ということで1年進めてまいりましたが、やはり道半ばというか、なかなか全員が使いこなすところまでは今年1年でいけなかったかなと思います。ましてや今おっしゃったとおり、本当にこの授業の中でタブレット使用は必要なのかということ考えた場合に、「うまく使った」という授業がこの1年間で見られなかったかなというのが本音です。</p> <p>ですから、今日見ていただいて、ここで必要だったのかなという以前に、教員が使いこなす、生徒が使いこなす、文房具の1つとして使えるみたいなところまで進むのには、まだまだ時間がかかるかなと私は思っております。</p> <p>それから、うちの子どもが立命館守山高校へ行っていましたが、立命館守山がタブレットを導入して8年になるのですが、やはり1年目くらいはこんな感じの使い方、やっとな安定したかなというのは5年くらい経ってからでした。ですから、こういう場面で使うと有効だなということを教員がわかってくるのはなかなか時間もかかるし、もっともっと、今、他校との交流などは画面ではいっぱい見られるものが出ているのですけれども、実際に、こういう場面に使って、いい授業だなということを見る機会があまりありませんので、これからどんどん研修を深めていく必要があると感じております。</p> <p>今年、義務感を持ってタブレットの研修をしていくということの1つで、総合教育センターの事業を1つ受けました。「1人1台端末を活用した授業づくりプロジェクト研究」というものに応募しましたところ当たりましたので、総合教育センターが入ってくださいって、研修や授業づくりについて示唆をいただいたのですが、その中で6月と11月に生徒と教員の実態アンケートを取っていただきました。6月はまだまだ使用できてない状況で、2学期に入りましてぼちぼちと使い始めたかなという感じです。研究主任からの提示が、今年2学期が終わるまでに1回、タブレットを使った授業公開をしてくださいということがノルマだったのですが、なかなかそれもできない状態で進んでいます。</p> <p>生徒は「使っている」という意識が持てるようになってきたかなという結果です。教員はまだまだ半分くらいしか、「使っている」というような意識が持てないという状況が、このアンケート調査をまたじっくり見ていただいたらわかると思います。道半ばというよりも、まだ最初の段階かなというのが、今年1年の私の感想です。以上です。</p>
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>安田 教育長</p>	<p>ありがとうございました。全体を通して言い残したことや、委員の皆さん、何かご意見はございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>皆さんから意見を出していただいて、整理したいと思います。</p> <p>タブレットを使った授業を見せていただいて、良さも含めて、課題も含めて、いろんな勉強になったということで、私もそういうふうに感じました。</p> <p>とりわけ先生のスキルアップをしなければならないなということと、生徒のスキルアップというところで、いろいろと先生にとっても子どもたちにとっても、格差があるなという感想が多かったのではないかなと思いました。ただ、始まったばかりでございますので、使う中でみんなのスキルアップにつなげていかないといけないというご意見かなと思いました。</p> <p>併せて、これは出なかったのですが、今後オンラインになって家庭へも持って帰るといこともありますので、家庭への啓発ということも含めて、生徒のスキルアップもそうですけれども、大きな課題かなと思います。</p> <p>とりわけ、家に持って帰るとなるといろいろなことが想定されますので、それはそれで大きな課題かなと思います。</p> <p>そういう意味で、教師の体制ということで吉澤委員さんから、複数での授業ということも言っていただきました。先生方のスキルアップという意味でも、GIGAサポーターというサポーターが2月から3月にかけて来てくださるといこともありますし、来年度も予算を付けてもらったらスタッフを付けるということで、先生方のスキルアップも図れるのではないかなと思います。</p> <p>そういう意味で、タブレットを使うのに向いている活動はいったいどういう活動なのか、1時間の授業の中で、ここで使えば有効だといところをもっともっと研究していくといことも大事かなという意見を出していただきました。ありがとうございました。</p> <p>そして忘れてはならないのは書くこと、とにかく日野の子どもたちの課題として、自分の考えを書きまとめるといことも大きな課題でありますので、タブレットを使うばかりで書くことがおろそかになってはなりませんので、活字文化についても大事にしなければなりませんし、図書のところ意見を出していただきましたとおり、タブレットの活用と図書を活かしていくとい、その授業の組み合わせも大切にしていく必要があるなという意見を出していただいたと思いました。</p> <p>西村委員さんからも言っていただきましたが、ふるさと学習にかかわって、私もそこは課題だと思ったのですが、小学校3年生から総合的な学習でふるさと学習が始まって、6年生になって、そして中学校へ来るわけで</p>
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>すけど、子どもたちは日野のことについて学ぶ場所があつて、いろいろ勉強はしていると思うのですけど、先生方の日野町についての学びがまだまだ高まってないところが課題かなと思いました。そういう意味で、教える側、指導する側、サポートする側の先生たち自身、日野のことについていろいろと学習する機会も持っていく必要があるかなということを感じさせていただきました。</p> <p>タブレットについては、今、文科省が言われています「個別最適な学び」というところの1つのツールでもあります。一人ひとりがバラバラのことをしているということで見られるかもわかりませんが、一人ひとりの学びをどういうふうに高めていくのか、そのためのツールとしてこれからも使っていくということで、そこまでの課題まで高めていこうと思うとなかなか、いろいろとクリアしていかなければならないことがあるのですけれども、一つひとつ積み上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>今日は本当に授業公開をいただきまして、ありがとうございました。大変よい勉強になりましたし、やはり現場へ出てこうして生の姿を見るということは、とても大事だなと私は感じさせていただきました。校長先生、ありがとうございました。</p> <p>それでは、福永校長先生はご退席ということで、ありがとうございました。先生方にもどうぞよろしくお伝えください。</p> <p style="text-align: center;">(福永校長 退席)</p> <p>それでは、授業参観から連続ですので、休憩を取りたいと思ひます。</p> <p style="text-align: center;">(休憩)</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p> <p>日程4 前回議事録の報告</p> <p>それでは、再開させていただきたいと思ひます。</p> <p>日程4 前回議事録の報告につきましては、お手元に配付の議事録のとおりでございます。</p> <p>委員各位におきましてご覧いただき、異なるところがありましたら事務局までご連絡をお願いしたいと思ひます。</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p>
安田 教育長	
安田 教育長	

日程5 経過報告	
安田 教育長	<p>続きまして日程5の経過報告に移りたいと思います。</p> <p>(経過報告)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございました。順番に経過報告をいただきましたが、委員の皆さん、ご質問などございませんでしょうか。</p>
西村 委員	<p>新型コロナの感染状況に基づく、学校の対応につきましては詳しくお知らせをいただきまして、ありがとうございます。きめ細かな配慮をいただいて、休むということを最小限にして運営していただいているということですので、大変ご苦勞はあると思いますが、結構なことだと思います。</p> <p>ただ、保護者の方におきましてはいろんなご心配もあるかも知れませんので、その辺は丁寧な対応が必要かなと思います。</p> <p>それから生涯学習課の町民大学講座、27日の宮崎先生のお話とか29日の人権交流研修会、私もその両方ともオンラインで、聞かせていただいたところでございます。</p> <p>オンラインですと臨場感がないと言いますか、例えば宮崎先生ですと、会場におられる齒黒さんとか教育長のご指名があつて、その様子は音声ではわかってくるけれども、現場の様子がわからないので、どんな雰囲気かなというもどかしさがありますね。</p> <p>しかし、それはそれとして、オンラインで、居ながらにしてそうしたところに参加できるというのは、それぞれで一面ありがたいことだと思ひまして、これからもそういうことがあればどんどんと参加させていただこうと思います。</p> <p>それから、放課後児童健全育成事業、「学童」というのがありますが、この事業は制度的には教育関係とは異なる別の流れということになっていますし、福祉の世界と思うのですけれども、子どもの生活から見れば、学校があつて、家庭がある、その真ん中に学童があると。すべての方が利用されているわけではないとはいうものの、その辺は、教育委員会としては何かコミットというものはあるのでしょうか。それをお聞きしておきたいと思ひます。</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございます。学童について。</p>

宇田 次長	<p>学童保育所については、最近はなくてはならないものという感じになっているのですが、やはり今回、コロナに関しましては教育委員会としても積極的情報交換しながら、学校でせつかく一生懸命コロナ対策をしても、学童で感染が広がっては何もなりませんので、そのあたりは常に情報交換しながら対応をお互いしているという現状でございます。</p>
西村 委員	<p>ありがとうございます。やはり子どもの生活全般から見ていくと、その部分というのは大事だと思いますし、そうして横の連絡を取っていただければありがたいと思います。ありがとうございます。</p>
安田 教育長	<p>学校では学校評議員さんに入っているという部分もありますし、密接にいろいろ連携を取りながら、コロナの関係の情報についても密接に連携を取らせていただいております。</p>
吉澤 課長	<p>町民大学、人権交流研修会につきましてのご発言をいただき、ありがとうございます。このような状況の中でどのようなことができるかということをごちらも判断した中で、オンライン併用、またオンラインのみという講座の開催形式を取らせていただきました。</p> <p>今のお話の中では臨場感がどうかというふうな感想をいただきました。</p> <p>まず町民大学でございますけれども、約 30 名の方に会場にお越しいただきました。先生も滋賀県内在住であり、滋賀医科大学、現在は中部大学の先生です。「眠り」の第一人者ということで睡眠についての研究をされており、それについての結果をきちんとした分析のもとにお話を聞かせていただきました。私どもにもご質問を投げかけていただきまして、私も詰まったりしながら進めていただいたところでございます。</p> <p>会場の皆さん方、オンラインの方もそうであったと思いますけれども、身近な題材であり、なるほどという感想を多くいただけたのではないかと考えております。「早寝・早起き・朝ごはん」は、「早起き・早寝・朝ごはん」ですよというお話もいただき、今後の事業の展開の中でも生かしていきたいと考えております。</p> <p>人権講座につきましてはオンラインのみということで、事務局、人推連協の会長・事務局長と教育長など、3～4人になるかなと考えておりましたがお越しいただいた方が数名おられまして、10 名弱が会場で聞かせていただきました。講師の福永さんは、誰もいない中でしゃべるのは心配だなということを感じておられましたが、それだけの中であうなずいでくださ</p>

<p>安田 教育長</p>	<p>る方とか共感していただく方が少しでもいらっしやったということで、1時間余りの時間を集中して熱い思いを語っていただき、大変よい講演になったと思います。今後もぜひ聞いていただければありがたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。ほかにはないようでございますので、日程を進め日程6の議事に入っていきたいと思ひます。</p> <p>~~~~~</p>
<p>安田 教育長</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日程6 議第1号 日野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について</p> </div>
<p>安田 教育長</p>	<p>「議第1号 日野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。</p> <p>(提案説明)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>提案説明がありましたが、委員の皆さんからご質問、ご意見等ございませんでしょうか。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>ご説明いただいたことで理解いたしました。もともとマイナンバーカードについては、利用範囲が社会保障・税・防災と、3つの柱でもってその情報を利用していくということになっていたと思いますが、今回、公的給付の支給等云々というのが、あとで令和3年になってから法律としてスタートしたということで、確かデジタル庁の事業発足との関わりの部分だと理解しております。</p> <p>私は、基本的にはこの内容は理解しております。その必要があつて、またこのことによって利便性の向上と申しますか、住民側にとっても手間が省ける部分があるということでは、今回の措置については必要なことではないかなと理解していますので、そういう意味では賛成でございます。</p> <p>ただ、マイナンバーカードについては、取り扱われる範囲がどんどん際限なくこれから広がりを見せそうでございますので、その第一弾だなど思つて注目しながら、この案件については理解したということでございます。</p>

安田 教育長	<p>ありがとうございます。ほか、皆さん、よろしいでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
安田 教育長	<p>そうしましたら、ほかにご質問、ご意見等もないようでございますので、議第1号については承認するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございます。異議なしということで、「議第1号 日野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を承認することとします。</p> <p>~~~~~</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日程6 議第2号 日野町特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定について</p> </div>
安田 教育長	<p>それでは、「議第2号 日野町特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定について」を議題にしたいと思います。教育次長。</p> <p>(提案説明)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございます。ただいまの提案説明に対しまして、ご質問などございませんか。</p>
西村 委員	<p>ご説明いただきました中で、81条とか、あるいは「児童等」のことは、わかりました。</p> <p>様式の中で重要な部分、必要理由を記述する欄が前は確かありましたね。これが削除されているというのが結構大きな変更ではなかろうかと思いました。</p> <p>複数名の記入ができるようになったと、これも大きなところだと思いますが、その中で性別の記入が削除されております。これは基本的な考え方の上に立った改正ではないかなと拝察をいたしました。</p> <p>収入の有無の欄も削除されました。これは先ほどの個人情報に関わるデータを役場内での横のつながりでやり取りできるようになったというこ</p>

	<p>ととの関わりでしょうね。収入の有無の欄が削除されているのは、先ほどの条例改正の案件と関わりがあるのではないかと思ったのですけれども、その理解でよろしいですか。税の証明欄がなくなっているのも同じ理由ですね。そういうようなことを思いながら拝見したのですけれども、そういうところですか。</p>
<p>宇田 次長</p>	<p>いろいろとありがとうございます。今まであまりにも記入項目がたくさんありましたのが、今の現状に合わせて最低限の記入に変えさせていただいたところでございます。また男女についても書く必要がございませんので、そういうことも含めて、今の世の中の流れに合わせて改正をさせていただきます。</p> <p>所得のことについては、後ほど調べてお答えさせていただきます。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>今回、申請書が変わったというのは、様式がただ単に簡略化されたというよりも、非常に深く考えて変えていただいたのだなと私は理解しております。今までたくさん書くところがあったとか、あるいは2枚書かないといけないとか、それを簡略化する省力化の方向の考えもあるのだろうけど、今日の改正には1つひとつに理由があって変えていただいたものだと私は思っています。</p> <p>先の条例は「行政手続における特定の……」とありますけれども、別表1・2・3とあって、例えば別表3でしたら、「特別支援学級に就学している児童または生徒……」とありますが、それは町長部局の「地方税関係情報であって……」と書かれているでしょう。そういうことと関わりがあるのではないかと私は思ったのですが、ないのですか。</p>
<p>宇田 次長</p>	<p>おっしゃるとおりです。特定の番号利用等に対するうちの条例の中で、規則の中で定められているところにこの分は入っております。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>だからそこは書かなくても、そちらを参照できるように条例を変えられたわけですね。そういうことですね。</p>
<p>宇田 次長</p>	<p>はい、そうです。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>そういうことではないかと私も思いましたので、あえて質問させていただいた次第でございます。ありがとうございます。</p>

安田 教育長	<p>庁舎内でそれぞれやり取りしながら、できるだけ保護者さんの負担を減らすようにするための改正だということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>(なし)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見等もないようですので、承認することによってよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
安田 教育長	<p>それでは、「議第2号 日野町特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定について」を承認することとします。</p> <p>~~~~~</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日程6 議第3号 日野町立幼稚園預かり保育モデル事業実施要綱の一部を改正する要綱について</p> </div>	
安田 教育長	<p>次に、「議第3号 日野町立幼稚園預かり保育モデル事業実施要綱の一部を改正する要綱について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いしたいと思います。</p> <p>(提案説明)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございます。ただいまの提案説明に対しまして、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
西村 委員	<p>あえて質問という形になって恐縮なんですけれども、休業日について、土曜日は必佐幼稚園では休業日でなくて、日野幼稚園は休業日だということになっているわけですね。これは、土曜日をお願いしたい場合は必佐幼稚園に入園を希望するようにと、そういうイメージなのでしょうか。</p> <p>その辺のところはどういう扱いなのか、基本的な考え方はどこにあるのか、教えていただきたいと思います。</p>
柴田 課長	<p>ご質問のとおり、第6条の中で「……………ただし、必佐幼稚園については、土曜日は休業日としないこととする。」ということですので、必</p>

	<p>佐幼稚園については、土曜日の保育は実施できるということで考えております。日野幼稚園としては、土曜日は休業日とするというふうに規定しております。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>それぞれに、幼稚園はどこへでも行けるようになっているのですか。私、申し訳ございませんが、住所地と利用される幼稚園が異なることについて、今まで意識の中になかったのですが、そういうことが可能だということになっているのなら理解できるのですが。</p>
<p>柴田 課長</p>	<p>通園区域というのが幼稚園の場合にはありまして、各地区の学区の幼稚園に行くというのが基本になっているのですが、3歳児につきましては、日野町全域の区域に通えることになっております。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>今のお答えでわかりました。要は、3歳児については、どこへでも行けるようになっているのですね。だから、必要な場合は必佐を選んでいかれたらいいということですね。そのルールは失念しておりました。失礼いたしました。</p>
<p>本居 委員</p>	<p>今の日野幼稚園の3歳児の預かりを4月1日からつくられるということですが、「令和4年度入園承諾状況」の裏の一番下、「令和4年度預かり保育決定通知状況」で、日野幼稚園の3歳児のところは「—」になっているのですが、4月1日から始まるので、ここには数字は出ていないということで、4月1日から利用される方の申し込みはあるのですか。</p>
<p>柴田 課長</p>	<p>今おっしゃっていただきましたように、添付しました資料の中の預かり保育通知状況では、日野幼稚園は「—」になっていますので、申し込みとしては今現在実施していないという状況ですので、申込者はゼロということになりますが、先ほどの課題のように3歳児の行く場がないということで、4月から日野幼稚園で預かりを始めますので、そこへ行ける方についてはご案内させていただいて、調整をさせていただいているところでございまして、具体的には今、日野幼稚園の3歳児の預かりは9名の方にご案内をさせていただいております。多少は動きますが、その程度は申し込みがあるところでございます。</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>よろしいですか。ほかに。</p>

<p>安田 教育長</p>	<p>(なし)</p> <p>ほかにご質問、ご意見等ないようでございますので、ただいまの案件についてご承認いただけるということによろしいでしょうか。</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。それでは、「議第3号 日野町立幼稚園預かり保育モデル事業実施要綱の一部を改正する要綱について」を承認することとします。</p> <p>~~~~~</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>日程6 報第1号 損害賠償の額を定めることについて</p> <p>次に、「報第1号 損害賠償の額を定めることについて」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。</p> <p>(提案説明)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>という説明でございます。皆さんからご質問などございませんか。</p> <p>(なし)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>それでは、ないようでございますので、これからも十分気をつけていきたいと思えます。</p> <p>~~~~~</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>日程6 報第2号 職員の分限処分について</p> <p>次に、「報第2号 職員の分限処分について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いしたいと思います。</p> <p>(提案説明)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>以上、報告でございます。皆様方からご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(なし)</p>

安田 教育長	<p>それでは、ないようでございますので、以上で議事については終了させていただきます。ありがとうございます。</p> <p>~~~~~</p>
安田 教育長	<p>日程7 今後の予定</p> <p>「日程7 今後の予定について」、学校教育課から順次説明をお願いします。</p> <p>(説明)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございました。今後の予定の説明がありましたけれども、皆様方からご質問等ありませんでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
安田 教育長	<p>よろしいでしょうか。それぞれ感染対策を講じたうえで、やれることはやっていこうということでございます。</p> <p>~~~~~</p>
安田 教育長	<p>日程8 その他</p> <p>それでは、続きまして、「日程8 その他」に移りたいと思います。担当から順次説明させていただきますので、よろしくをお願いします。</p> <p>(説明)</p> <p>~~~~~</p>
安田 教育長	<p>日程9 閉会</p> <p>それでは、以上をもちまして1月の定例会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>